

## スグカワニナの徳之島からの初記録

仲宗根和哉<sup>1</sup>・本間朱里<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〒905-1411 沖縄県国頭郡国頭村字辺士名

<sup>2</sup>〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然学科

### Abstract

*Stenomelania uniformis* specimens were collected from Tokunoshima Island. These specimens represent the first records of this species on the island. Measurements and counts of these specimens are provided.

### はじめに

スグカワニナ *Stenomelania uniformis* は、トウガタカワニナ科に属する汽水性貝類である。本種はフィリピン、台湾、琉球列島に分布し、国内では、奄美大島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島、与那国島から記録されているほか（増田・内山、2010；久保・中井、2014；山本ほか、2016；久保、2017）、伊平屋島からも古い採集標本があるとされる（増田・早瀬、2000）。

徳之島におけるトウガタカワニナ科の報告は乏しく、トウガタカワニナ *Thiara scabra* が秋利神川から記録されているのみである（行田、1996）。今回、著者らは徳之島においてスグカワニナを確認したため、ここに報告する。なお、本標本の内1点は琉球大学博物館（風樹館、RUMF: Ryukyu University Museum Fujukan）に収蔵されている（RUMF-ZM-11554; Fig. 1A）。

### 記録

**スグカワニナ *Stenomelania uniformis* (Quoy & Gaimard, 1834)**

2025年10月1日21:30頃、鹿児島県徳之島町亀津の大瀬川において発見し、2標本を採集した。

発見地点の環境は汽水域上限の流れの緩やかな砂泥底で、40–60 mm程度のスグカワニナが10個体ほど確認された。また、周辺ではトウガタカワニナも確認された。

採集標本は、殻高65.7 mm (RUMF-ZM-11554; Fig. 1A), 58.2 mm (Fig. 1B) であった。高い塔型の殻を持ち、殻表は平滑で、縫合は浅く螺管が膨らまないため殻頂から体層にかけての輪郭が直線的であり、蓋は黒褐色、殻は茶褐色から黒褐色であった。これらの特徴は既往文献（増田・内山、2010；久保、2017）の示すスグカワニナの特徴と一致する。

### 考察

本報告は、標本に基づく徳之島からのスグカワニナの初記録であり、鹿児島県下において2島目の記録となる。本種は、環境省レッドデータブックにて絶滅危惧I類、鹿児島県および沖縄県レッドデータブックにて絶滅危惧II類と評価されている希少種である（久保・中井、2014；山本ほか、2016；久保、2017）。今回、スグカワニナが発見された大瀬川は徳之島町の市街地である亀徳の中心部を流れる河川であり、これまでに河川改修も実施されている。河川改修などによる河川環境の変化はスグカワニナ個体群に悪影響をもたらす事が知られており（久保、2017），今回大瀬川で確認されたスグカワニナの個体数も多いとは言えず、絶滅危惧種である本種とその生息地の保全に注意が必要である。また、スグカワニナは、浮遊幼生期を経る両側回遊の生活史を持つことから、

Nakasone, K. & A. Honma. 2025. First record of *Stenomelania uniformis* from Tokunoshima Island. *Nature of Kagoshima* 52: 169–170.

✉ KN: Hentonaka, Kunigami, Okinawa 905-1411, Japan (e-mail: miurat@miyazaki-u.ac.jp).

Received: 27 December 2025; published online: 28 December 2025; [https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_052/052-041.pdf](https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-041.pdf)

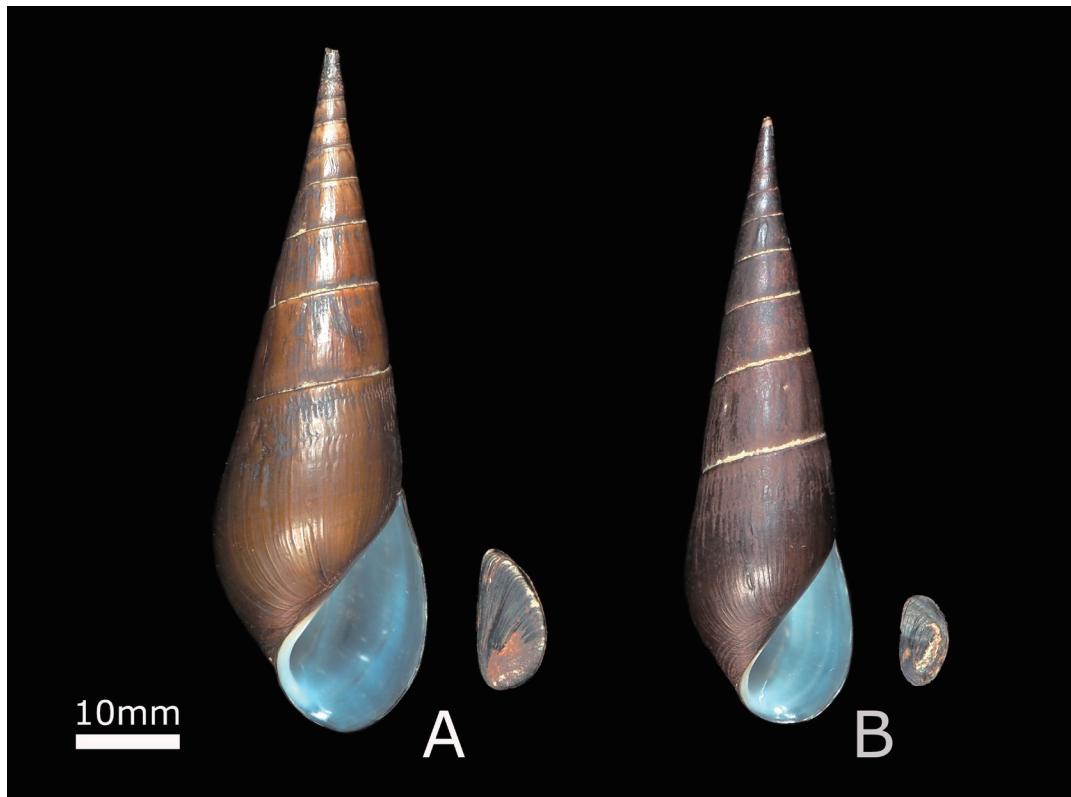


図1. 徳之島から採集されたスグカワニナ生体標本. A, RUMF-ZM-11554; B, 仲宗根個人所蔵.

Fig. 1. *Stenomelania uniformis* collected from Tokunosima Island, Japan. A, RUMF-ZM-11554; B, Private collection NAKASONE.

周辺の島や徳之島内の他の河川においても本種が確認される可能性があり、今後周辺地域も含め詳細な生息状況の調査が望まれる。

#### 謝 辞

本稿の執筆にあたり、Natural Box 株式会社の石神安弘氏には文献の収集にご協力頂いた。この場を借りてお礼を申し上げる。

#### 引用文献

久保弘文, 2017. スグカワニナ. Pp. 490–491. 沖縄県環境部自然保護課(編)改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版(動物編)レッドデータおきなわ. 沖縄県環境部自然保護課, 那覇.

久保弘文・中井克樹. 2014. スグカワニナ. P. 50, 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編), 一日本の絶滅のおそれのある野生生物—6貝類, ギョウせい, 東京.

増田 修・早瀬善正. 2000. 奄美大島産陸水性貝類相. 兵庫陸水生物, 51・52: 305–343.

増田 修・内山りゅう. 2010. 日本産淡水貝類図鑑2汽水域を含む全国の淡水貝類. ピーシーズ, 横浜.

山本智子・富山清升・重田弘雄・行田義三. 2016. スグカワニナ. P. 208, 鹿児島県環境林務部自然保護課(編), 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 動物編—鹿児島県レッドデータブック2016—. 一般財団法人鹿児島県環境技術協会, 鹿児島市.

行田義三. 1996. 徳之島の貝類. Pp. 145–152. 鹿児島県立博物館(編)鹿児島の自然調査事業報告書III—奄美的自然. 鹿児島県立博物館, 鹿児島.